

有P

No. 272

1. すべり出した地方選挙

三月二十八日社会党は岸内閣の不信任案を出し、激しく岸政府の退陣を要求しましたが、自民党もこれに応酬して活潑な選挙の前哨戦を展開しました。翌二十九日には二大政党内初の統一知事選挙の告示が行われ、東京駅前の有田候補の第一声には浅沼さん以下党幹部がくりだし、東京だけは絶対に負けられないという気構えをみせれば、東候補を担ぐ自民党は、連戦連勝の余勢をかって、岸総裁以下大物全員が顔を揃えて賑やかな事務所開きです。保守と革新が面目を賭けた地方選挙はいよいよ火蓋を切りました。

2. 北海のトド騒動

北海道の日高沿岸や、噴火湾（太平洋側）には冬から春にかけてトドがやって来ます。トドというのはあざらしのしんせきではあるが長さが五メートル、重さは一トンという怪物ばかり。これが群をなして附近の漁場を荒しまわるのだからたまりません。被害も年間二千万円という巨額になりました。そこで漁師たちは捕鯨船をかり出して、トドを追いまわしましたが、一頭二頭としてめてみても手に追えず、ついに航空自衛隊の出動となりました。三月二十六日五千人の見物人が見守る中で、F86Fジェット戦闘機の猛烈な機銃掃射が三十分間にわたって行われました。これでさすがの海のギャングも鳴りをひそめたようです。

3. 大とら小とら

日本の群像——
オートメーションの工場から生れる一升ビンは全国で一日約百万本。飲む方の大衆酒場も近頃はグッと規模が大きくなりました。おかげで夜も更ければ大トラ小トラの花ざかりです。警察のお世話になる酔っぱらい族は一年に約十万人。トラブームに悩まされる警察庁がはじめて店開きした保護センターが名古屋にお目見えして、毎晩パトカーに乗ったお客様で盛況です。明るくスマートながら、云うなればブタ箱ならぬトラ箱のこのお客様、朝ともなれば夜の勇ましさはどこえやら、すつかり元気がありません。今年もお花見のシーズン。相変わらず、これもわがもの顔の酔っぱらい天国ですが、お酒飲むの御意見はともかく、お酒に飲まれぬ用心だけは心掛けてもらいたいです。

高杉才一。七号
道新才一ニ号
井澤隆才一（改号）
東葉（才一）
陣

317

270

165

野崎